



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

墨田区の家リノベーションプロジェクト

タイプ

持家一戸建

講評

車椅子生活者のためのバリアフリー化がきっかけのリフォーム。耐震補強により建物の老朽化も大きく改善された。出窓部分の防犯格子も木製とし、周辺への配慮も行っている。上部からの採光など都市住居の試みもある。



a



A 防犯のため出窓部分に設けた縦格子は公道から私道へと入る通行人への圧迫感を抑えるため出隅部をR型としている



b



c



B

建具を閉めたLDKスペース



B

建具を開放し介護スペースと一体となったLDKスペース



C

車椅子対応のゆとりあるトイレコーナー



F



F



F

取り外し可能な間仕切り壁(ケンドン式のパネル)により適宜スペースを区切る事が出来る



E

トプライトからの光がFRPグレージング越しに降り注ぐ階段



D

玄関スロープとLDKスペースの間は出窓からの採光を遮らぬ様、背板・扉を半透明の亚克力板で構成した飾り棚で仕切っている。



G

ケンドン式パネルを取り外し一体となった2階個室空間



H

ロフトからの見下げ

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《動機》

- ・車椅子生活の父の介護の為に、全体的にバリアフリー化する必要があった
- ・築年数45年のため内部外部、又主要構造部の老朽化も著しく耐震補強も踏まえての大規模改修工事となった。
- ・物に溢れ薄暗く狭いリビングを、明るく広々としたLDKのワンルーム空間としたい。

《設計の工夫点》

耐力壁を外周部に追いやり、2階床組みを2×12材で構成することによって2間間口を確保、その間は壁を設けず亚克力板の収納棚やポリカーボネートの建具で適宜空間を分節している。その他にもルーフテラスやロフト空間、トプライトなど住宅密集地の悪条件を克服する仕組みを多く試みている。

特に配慮した住宅性能：耐震補強 ・バリアフリー ・近隣からのプライバシーの確保

データ

所在地	東京都墨田区	構造/築後年数	在来木造/45年		
該当工事面積	73 m ² /総工事床面積	73 m ²	該当部分工事費	2,100 万円/総工事費	2,100 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 1 人/65歳以上： 2 人/15歳未満： 人/ペット：				
設計者	(有)TAU設計工房 一級建築士事務所	担当者	小宮 成元・小林 敏也		
施工者	下村工務所	担当者	下村 公克		

リフォーム前

リフォーム後

BEFORE (改修前平面図)



1F PLAN



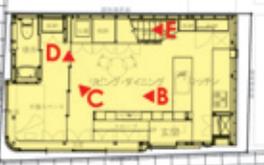
2F PLAN



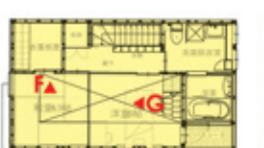
AFTER (改修後平面図)



1F PLAN



2F PLAN



AFTER (改修後平面図)

